

<株式会社エフエム東京 第375回放送番組審議会議事録>

1. 開催年月日:平成22年2月1日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社10階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数7名(社外7名 社内0名)

◇出席委員(4名)

横 森 美 奈 子 副委員長 渡 辺 貞 夫 委員
内 館 牧 子 委員 西 田 善 太 委員

◇欠席委員(3名)

青 池 慎 一 委員長 香 山 リカ 委員
秋 元 康 委員

4. 議題:

【番組名】「TIME LINE」(ダイジェスト版)

毎週月曜～木曜 19:00～19:30 放送

【放送日時】2010年10月20日(水) 19:00～19:30 放送分

2010年12月15日(水) 19:00～19:30 放送分

【番組概要】

当日の主なストレートニュースの背景、昨今のニュースを読み取る様々な「視点」と「考える」ためのヒントを送ることを趣旨とした30分の報道プログラム。ジャーナリズムの第一線で活躍する気鋭の論客が日替わりでキャスターをつとめています。月曜日は朝日新聞編集委員・星浩氏、火曜日は慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究課教授・岸博幸氏、水曜日は気鋭のジャーナリスト・上杉隆氏、そして木曜日は経済評論家・伊藤洋一氏。ラジオならではの距離の近さを活かし、新聞やテレビ、WEBのニュースでは引き出されにくい、各ジャーナリストの本音や直球の解説が特徴のニュース番組です。12月の聴取率調査では20代男性でNo.1を獲得し、この独自のスタイルが定着してきている兆しをみせました。

本日お聴きいただくのは、10月に週を通じての企画とした「非凡な10代(デジタルネイティブ)が語るニッポンの未来とは？」から10月20日放送分(10代でiPhoneアプリ開発をして話題となった灘中のテフ君がゲスト)、及び12月の週間企画であった

「自分の名前でやってます～ウィキリース後のネット社会」から15日放送分(ネット時代のジャーナリズムと題して、ビデオジャーナリスト神保哲生氏がゲスト出演)をダイジェストでお送りします。

※これまでのOA特集例

「“辺境のニッポン”から考える(年始・週企画)」、「マルクスリバイバル!?!」、「民主国家 日本の民意表現の今(デモ)」、「ワクチン後進国のニッポン」、「北朝鮮へ旅行するには」、「中国で家康ブーム!?!」、「離活」、「信じられない教師続出!?!教育現場の今」、「閉館相次ぐミニシアター、映画はどうなる?」、「“感動をありがとう”の氾濫」 etc.

<試聴時間:約22分>

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- 個人的には今回特集されていたような新しいメディアには接していないので、意見を言う立場に無いと思う。こういう番組自体はニュース番組としては面白いと思うが、こういった話題に縁が無いので、個人的には興味を持てなかった。
- テレビにもこういう切り口でやっている番組は数多くあり、それらのラジオ版だと思った。特集は面白いと思ったが、25分の中でストレートニュースと特集をどういうバランスでやるか難しいと思う。どの程度をどういう風に特集で埋めていいのか、もう少し考えたほうがいいかもしれない。資料に書いてあるこれまでの特集テーマは興味深い。切り口と人選が大切になってくる。ただ、特別に報道番組としての新しさは感じられなかった。
- FMの一番悪いところが出てしまったように思う。どこを目指しているのか分からない。上杉隆さんの自由度が少なくなっているのが気になった。本来であればもっと自由でめちゃくちゃな方。その良さが出ていなかった。雑誌の取材だったら失敗だ、くらいのコンテンツ。深い話を表面だけさらって、もう何十年も語られているようなまとめをしている。もっと突っ込んだことをしてほしい。たとえば、テフ君が作ったソフトの内容やどうして話題になったのか、ということは検証したのだろうか。AMラジオにあるような、何を言い出すか分からない面白さ、ごつごつした感じがなくて、心情的には入っていけなかった。また、アナウンサーがすごくアナウンサーっぽい語り口で興味をそがれた。これまでに放送したテーマはとても面白い。ただ、AMのワイドの面白さは、「感動をありがとうの氾濫」と「ミニシアター」と「ウィキリー

クス」が2時間くらいの中にごちゃまぜになっている感じ。25分の枠の中で1テーマを日替わりで掘り下げるといふ辛さがあるのかもしれない。ニュースをやって特集をやるということ自体は大した企画ではなく、問題はどんなテイストでどういうふうにかぶせてどれだけ出すか、ということだと思ふ。「うわ、ここまで言うか!？」と聴き手に衝撃を与えるようなこと。今回の放送を聴いて、思わず書き込みたくなるような逆刺激も共感も無かった。あと、使われているBGMに違和感を覚えた。「まとめ」に聴こえてしまった。

- 個人的にはとても面白く聴かせて頂いた。テフ君の存在を知らなかったのが、得るものがあつた。上杉隆さんとのやり取りも面白かつた。特に、テフ君の「いまの日本、結構雰囲気いいじゃないですか？」というコメントが響いた。会社や景気のせいにする悲観的な大人が多い中、こういうことを言ってくれる15歳がいることを、大変頼もしく思つた。神保哲生さんの回は、これからの情報の区分けについて考へる機会となり、勉強になつた。聴く人の情報量や知識の程度によつて、受け取り方が違ふのかもしれない。私の場合は、なるほどと思ふことが多かつた。
- 回によつては出演者が鋭く語つているが、頂いた意見をよりよい番組作りに反映させていきたい。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送: 番組「JOGLIS SUNDAY」
2月27日(日) 5:00~7:30 放送
- ② 書面: TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット: TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会 3月1日(火)に開催することを決めた。

以上